

# 昌子の広場 第214報 小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員  
小林昌子

和泉市緑ヶ丘2-13-10  
 自宅Tel 0725-54-2626  
 Fax 020-4669-6920  
 事務所Tel(Fax)0725-53-4451  
 Email masakokob@yahoo.co.jp  
<http://masako-hiroba.info/>  
 ホームページもご覧下さい



目次	
・長野県上田市の上水道施設を視察	P1,4
・北信太駅前開発計画が明らかに	P2-3
・昌子の広場	P4

## 長野県上田市の上水道施設を視察 北信太駅前開発計画が明らかに

### 長野県上田市の上水道施設を視察してきました



●泉北水道信太山浄水場廃止が検討されていることについては、昌子の広場第211報で報告いたしました。これは信太山浄水場の施設が老朽化しているため、急速濾過方式に改修が必要で、それには70億円が必要となり給水単価が大幅に高くなり、改修は非現実的であり、施設の廃止が必要というものです。

今年の春日本水大賞・国際貢献賞を受賞された信州大学名誉教授の中本先生は、泉北水道の水処理を急速濾過にしなくてもいくつかの対応をとれば、ほとんど維持管理に手がかからない施設にすることができると明言されているので長野県上田市の上水道施設を視察してきました。

●7月31日、8月1日の両日信州大学名誉教授中本信忠さんのご案内で染屋（そめや）浄水場と石舟浄水場の視察をしてきました。

中本先生には7月4日（木）に泉北水道にお越しいただき、施設を見ていただきアドバイス等を戴いたのですが、当日私は裁判があり、昼食会からの参加となりました。その席で午前中に参加した面々から泉北水道の継続についてはこの施設を活用して、今までどおりの水作りが可能だとの見解を戴いたとうれしい報告を貰いました。し

かし行政側は私たち議員には泉北水道を継続するには約70億円が必要だと言っています。しかし中本先生の見立てでは今の状況で少し工夫をすれば、たとえば砂の層をもっと厚くし、水深をもう少し浅くする等をすれば十分やっていけるとのことでした。

中本先生は砂でゆっくり水をこす「緩速濾過法」を微小生物が細菌などを分解する点に着目して「生物浄化法」と名づけ、多くの発展途上国において技術支援を行っておられます。

今回の現地視察では泉大津市、高石市の議員さんとご一緒しました。最初に見学したのは川久保橋下で、なんとその上流には汚水の処理施設があり、その排水が混ざったものを原水として「染屋浄水場」で水を作っています。染屋浄水場は大正12年（1923年）築で緩速濾過池が13も有り計画浄水能力は46,800m<sup>3</sup>/日の施設です。平成29年度の実績は給水人口 約75,700人、取水量33,800m<sup>3</sup>/日→配水量25,500m<sup>3</sup>/日との事です。中本



先生のご案内で浄水場の中を仔細に見学できました。先

生は緩速濾過池の多くの地点で、先生手作りと思われる道具で濾過池の土を採取し、専用の容器に入れておられました。こうした地道な研究の成果が開発途上国からの強い要請を受け、多くの国で安くて安全な水作りに貢献されているのだと、改めて先生の偉大さを実感しました。翌日は「おいしい水を広める市民の会」の皆さんが先生と一緒に施設をご案内くださいました。メンバーは多士済々で元議員の方や中国語の翻訳と出版をされている方、土と味にこだわる農業者の方、そして後に生きる世代が楽であるようにと環境にこだわった商品を販売している方々などです。

2日目は石舟浄水場です。こちらも緩速濾過の浄水場で昭和45年に完成しました。計画浄水能力9,000 m<sup>3</sup>/日 取水施設1池 緩速濾過池5池の施設です。

緩速濾過でおいしくて安全な水をつくれ、しかも経費が安いとなればどなたも緩速濾過の水を選択しそうなものですが、和泉市、泉大津市、高石市の3市は令和2年度末に信太山浄水場を廃止する計画です。今回上田市を訪問して大正12年に完成した染屋浄水場が現役で活躍していることを知りました。信太山浄水場も濾過池の砂を厚くして、水深を浅くすればまだまだ現役で使用できると先生からアドバイスいただきました。安くておいしい水を作り続けることが可能なのに、なぜ行政側は早急に信太山浄水場を閉鎖しようとするのか理解に苦しみます。仮に信太山浄水場を閉鎖するとすれば、除却費用として3億7100万円が必要との試算があります。

(緩速濾過池→162,600千円、送配水管・場内配管→108,400千円、その他 100,000千円)

災害時には自己水を持っていることが住民の命を救うことにつながります。そして何より、信太山浄水場の水

は緩速濾過のおいしい水です。泉北水道で水を作り続けることが出来るように、考えていきたいと思います。

### 昌子の日記&予定

- 9/2 和泉中央駅会報配布、代表者会議・議運傍聴、古文書講座
- 9/3 和泉中央駅会報配布、成美高校へ
- 9/4 和泉府中駅会報配布
- 9/5 和泉中央駅会報配布、ソロプチミスト大阪-南稜合同委員会
- 9/6 談合裁判(大阪地裁)
- 9/9 本会議、古文書講座
- 9/10 和泉中央駅会報配布
- 9/11 光明池駅会報配布
- 9/12 厚生文教委員会傍聴
- 9/13 都市環境委員会傍聴
- 9/14 緑ヶ丘小学校清掃活動
- 9/17 総務安全委員会
- 9/18 信太山駅会報配布、庁舎整備特別委員会
- 9/19 北信太駅会報配布、議運傍聴、子ども食堂てらこやハッピー
- 9/20 和泉中央駅会報配布
- 9/21 緑ヶ丘小学校運動会
- 9/25 光明池駅会報配布、一般質問
- 9/26-27 一般質問
- 9/28 石尾中学校体育大会
- 9/29 タウンミーティング(緑ヶ丘自治会館)、EM農園ボカシ作り
- 9/30 本会議

## 微生物浄化の水道 残して



**水道の浄化方式**  
水道水の浄化には緩速濾過、急速濾過、膜濾過、消毒のみの四つの方法がある。濾過池の砂層にいる微生物の作用でゆっくり浄化する緩速濾過が戦前は一般的だったが、戦後は薬品を注入して濁りを速く取り除く急速濾過が普及し、現在は全国の計画浄水量の8割を占め、緩速濾過は4%弱。府内では信太山浄水場以外に、高槻、河内長野、貝塚の3市と能勢町に計6カ所あるが、規模は小さい。

**地元市議ら「改修を」**  
戦後の人口増に府営水道網、大阪工場水道企業団の拡張が、中本信忠・信太山浄水場をめぐり、3市の懸案が浮き彫りにされている。市議らは「微生物を使った浄水方式で環境を壊さず、災害時の水源地としても有用」として、企業団は「老朽化が深刻」として、2021年春に廃止する方針だ。

「こんな良い浄水場をなくす手はない。砂の層を厚くし、生物の働きをよくすれば水質ももっと良くなる」と中本さん。ただ、泉北水道企業団は、同浄水場を廃止する方針だ。「もともと暫定的な施設。未来水新造の前倒しはない」と担当者は言う。

今年7月、3市の市議約10人が、中本信忠・信太山浄水場をめぐり、3市の懸案が浮き彫りにされている。市議らは「微生物を使った浄水方式で環境を壊さず、災害時の水源地としても有用」として、企業団は「老朽化が深刻」として、2021年春に廃止する方針だ。

### 信太山浄水場 廃止方針

《事務所行事》いずれも小林昌子事務所で  
連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626

事務所 TEL 0725-53-4451  
(事務所 緑ヶ丘1-3-15)

### 万葉講座(場所 緑ヶ丘自治会館にて)

- ・講師 大高勇さん(全国万葉協会会員)
- ・開催時刻 13-15時
- ・会費 年会費 3500円
- ・第165回(9/14土) 済み
- ・第166回(10/12土) 次月バス散策事前説明
- ・第167回(11/16土) バス散策

「万葉ロマン溢れる恋歌の舞台蒲生野から湖北磯の埼へ」 スポット: ガラス工芸の街長浜を訪ねて

### パソコン講座

- ・第2、第4週の火曜 10時~12時、
- 同じく 木曜 14時~16時

### 市政相談会(事前にご連絡下さい)

- ・第2、4水曜日 20:00~21:30

使いやすくて住みやすい和泉市北の玄関口のまがひ

北信太駅前整備基本計画が明らかに和泉市ホームページより

JR 阪和線の北信太駅は、大阪市内方面からの来訪者にとって"北の玄関口"となる駅ですが、都市計画道路である北信太駅前線及び駅前広場が未整備あるため、交通動線が錯綜して危険な状況であるとともに、バス停が駅前から離れているなど、アクセス性が不便で交通結節機能が不十分であり、東西自由通路のバリアフリー化や市営駐輪場の老朽化及び耐震の問題など、様々な問題を抱えています。

当該駅周辺地区は、地域拠点のまちづくりや資源を守り活かしたまちづくりなどを旨とする位置付けられていることから、魅力ある駅前の機能形成に向けた取組を実践するために整備基本計画を策定するものです。

- 本計画の中心となる駅前広場周辺の整備は
- 公共交通によるアクセス性向上のため、バス・タクシー乗降場を設置
  - 広場に接続する周辺街路において一方通行や歩行者優先道路の設置
  - 東西自由通路のバリアフリー化又は地下通路にエレベーターを設置
  - 駅西側には歩行者空間や駐輪施設の設置
  - 駅利用者の待ち合わせのためのオープンスペースの確保



本計画の目標年次は、都市計画マスタープランの目標年次をふまえ、長期目標を2033年とする

表 各事業のスケジュール

事業	短期	中期	長期	将来
	期間5年間	期間5年間	期間5年間	
駅前広場の整備	用地取得・関係機関協議	整備工事		
北信太駅前線の整備		用地取得・関係機関協議	整備工事	
駅前広場周辺道路の歩行者優先化		関係機関協議・整備		
東西自由通路のバリアフリー化	用地取得・整備工事			
市営駐輪場の建替え	仮設駐輪場設置→市営駐輪場撤去		用地取得・新設駐輪場整備	
駅西地区周辺整備		用地取得・関係機関協議	整備工事	
信太貝吹山古墳の整備			整備状況に照りつけて施策を検討	
商工・観光関連施策			整備状況に照りつけて施策を検討	
まちづくり関連（都市計画変更の検討）		整備状況に応じて都市計画変更を検討		

広場へのアクセス道路となる北信太駅前線については、円滑な車両（自動車・自転車の走行空間と安全な歩行者空間を確保。更に北信太駅前線の道路整備により、幅員の狭い現在のアクセス道路に流入していた通過車両を抑制し、地域の安全性の向上を図る



市営駐輪場は老朽化及び耐震の問題から建て替えが必要。駅前広場の整備と整合を図りながら、駅前空間の安全性・利便性の向上を図る

